

## 第 28 期第 6 回仙台市図書館協議会会議録

- ◎ **会議の日時・場所** 平成 30 年 4 月 24 日（火）15 時 00 分～16 時 30 分  
仙台市役所本庁舎 2 階第 4 委員会室
- ◎ **出席委員の氏名** 浅野伸一郎委員、石川俊樹委員、遠藤仁委員、小林直之委員、  
今野広元委員、村上千枝委員、横山祐子委員、  
渡辺祥子委員、渡辺通子委員
- ◎ **事務局職員氏名** 市民図書館長 武者元子、市民図書館副館長 高橋泰、  
宮城野図書館長 柴田聡史、若林図書館長 岡崎修子、  
太白図書館長 武山剛久、泉図書館長 福井健司、  
広瀬図書館長 相澤滋、榴岡図書館長 中里省一、  
市民図書館企画運営係長 富田直美、  
市民図書館奉仕整理係長 山田千恵美、  
市民図書館企画運営係主任 柴山玲子、主任 田上マリ子

◎ **会議の概要**

1 **開 会**

2 **挨拶**

教育長挨拶

新委員挨拶（浅野伸一郎委員）

会長挨拶

館長挨拶

3 **議長の選出**

仙台市図書館条例施行規則第 14 条第 3 項に基づき、遠藤仁会長が議長となった。

4 **会議録署名委員指名**

会長より、横山祐子委員を指名。

5 **報告事項**

（1）平成 30 年度仙台市図書館運営方針・事業計画について

市民図書館副館長より、資料 1 に基づき説明。

〔委員からの主な質問・意見〕

議長

運営方針や事業計画について質問や意見はあるか。

ヤングアダルト世代の読書支援に関する取組みについては、どのようなかたちで成果報告を行っているか。

事務局

毎年の事業報告書においてソフト事業等の実績を公表している。

議長

子供たちは、小学生のうちにはよく本を読むが、大きくなると忙しさもありあまり読まなくなってしまう。ブックトークの取組みについて、手軽に教員が実践できるマニュアル的なものがあると良い。以前、大学でブックトークの実践をした際に、講師の協力を得て手順を広報紙に掲載したところ、学校や図書館での研修に使いたいという要望が多く寄せられ、残部がすべてなくなってしまった。こうしたニーズがあると感じているので、普及活動の在り方についても今後さらに工夫してほしい。図書館事業については、非常に多岐にわたっている。平成 30 年度もまた全体に目配りしながら、できることから取り組んでほしい。

## (2) 平成 30 年度図書館予算概要について

市民図書館副館長より、資料 2 に基づき説明。

〔委員からの主な質問・意見〕

議長

予算について質問や意見があれば発言願う。

渡辺通子委員

移動図書館の「ひろせ号」を見かけた。本がたくさん並んでおり夢を運んでいるようだが、老朽化しているのではないか。予算はどうなっているのか。

事務局

移動図書館の車両は 3 台あり、毎日 2 台を走らせている。1 台は比較的新しいが、残る 2 台は導入から 10 年以上経過している。特装車であるため、すぐには更新が難しいのが現状である。

渡辺通子委員

仙台市は広い。移動図書館はどのあたりまで行くのか。

事務局

移動図書館は仙台市全域の 76 か所に立ち寄っている。図書館機能の空白地域を埋めるためのポイント設定をしている。

石川俊樹委員

宮城県図書館では、宅配便を利用した県内各市町村図書館への協力便を週 1 回出しているが、その輸送費が昨年度比 2.5 倍に高騰している。仙台市図書館では、資料の輸送費高騰の影響はあるか。

事務局

宮城県図書館と 7 つの市図書館を毎日往復している巡回メール便については、昨年 4 月の段階で、通年契約を結ぼうとしたが不調になり、予算を確保したうえで再度入札するということがあった。今年度はそれを見込んでいたため、特段の影響はない。

学校貸出しの本を宅配便で送る業務については、昨年度と今年度で特に変わらない。

石川俊樹委員

県図書館の場合、元の金額が抑えられていた面もあるかと思う。県図書館では本日から、児童書の新刊を3000冊展示するが、展示後にそれをセットにして県内の図書館や小学校に貸し出す移動展示会があり、その輸送費の件があったのでお聞きした。

横山祐子委員

学校向け貸し出しサービスについて、1校あたりの利用回数は決まっているのか。修学旅行のシーズンに関連の資料を利用するなど、じわじわと先生方に浸透してきているが、特定の学校が多く使ってしまうと、今後、不公平感が生じるのではないか。

事務局

今のところ、利用頻度の制限をもうけるなどの状況ではなく、希望に応じて利用可能である。小学校向けには4月18日に説明会を行い、中学校には5月に説明を予定しており、活用を呼びかけている。ホームページにも学校支援のページを新たに作り、配送サービス等について掲載している。

村上かずひこ委員

図書館システムを通して、年代別の貸し出し状況などは分かるのか。

事務局

一般書、児童書、雑誌、という資料のくくりでの利用者数の統計はあるが、年代ごとには出していない。

村上かずひこ委員

地域によって貸し出しの傾向なども違うと思うが、政令指定都市間で情報交換は行っているか。

事務局

毎年の政令指定都市の会議の中で、各都市の最新の統計を資料として共有している。

村上かずひこ委員

資料購入費に関連して、選書はどのように実施しているか。

事務局

資料購入費については、各館ごとに予算の段階で一般書、児童書、雑誌などの分野に分け、毎週一度、複数の担当職員が合議で選んでいる。一般書に関しては、各館で行う選書のほかに5地区館の担当者が一堂に会して高額図書等の選書を行う集中選書も隔週で実施している。

村上かずひこ委員

資料の貸し出し状況の傾向は参考にするのか。

事務局

1冊の本に12人以上の予約が入るなどの予約が多い本は、複本の購入を検討することとしている。

### (3) 平成29年度蔵書点検結果について

市民図書館副館長より、資料3に基づき説明。

〔委員からの主な質問・意見〕

議長

蔵書点検に関して、ご意見等はあるか。

村上かずひこ委員

市民図書館の蔵書が一番多いのはわかるが、不明資料の額が 400 万円というのは多いのか少ないのか。お金で買えないものもあると思うが、傾向はどうなっているか。

事務局

不明資料は単価換算が 1 冊あたり 1800 円以上である。2143 点、400 万円という数字は大変大きいと認識しており、残念に感じている。新年度には市民図書館と太白図書館において、不明本対策として盗難防止装置の導入を進めていきたい。

横山祐子委員

こういう図書がなくなりやすいという傾向はあるか。

事務局

話題の本、ニュースになっている新刊本などが見つからなくなることが多い。

村上かずひこ委員

大学図書館や県図書館の状況はどうか。

石川俊樹委員

宮城県図書館では盗難防止措置を導入しており、被害は比較的抑えられている。被害は 0 ではないが、抑止効果は出ている。

議長

大学図書館でも市の図書館全体の不明率と似たような数字である。新たに導入予定の対応策では抑止効果が見込まれる。協議会としても今後、推移を見守りたい。

(4) 平成 29 年度仙台市図書館利用者アンケート集計結果について

(5) 平成 29 年度仙台市図書館利用者からのご意見について

(6) 平成 29 年度仙台市図書館利用者懇談会実施報告について

市民図書館奉仕整理係長より、資料 4、5、6 に基づき説明

〔委員からの主な質問・意見〕

議長

利用者アンケート等の報告に対して質問や意見はあるか。

今野広元委員

アンケートに直接ではないが、新しく図書を買うという件について、利用者の立場からすると、新刊が多いほど、行って借りたくなると思う。そうした人気のある本は多く買っているのか。

事務局

目安として 1 2 人のリクエストがあったら調整を行っている。また、直木賞受賞な

ど、予約待ちが特に多い資料は全館合計30冊まで購入している。巡回メール便を利用して、早く返却されたものから次の予約した人に運ばれていく仕組みとしている。

今野広元委員

それでも長期間予約待ちということがあるのか。

事務局

1年くらいの予約待ちの資料もある。

今野広元委員

レンタルショップでは、新刊のレンタル本は数をそろえていて、それでもほとんど借りられている。図書館にももっとボリュームを持って置いておけば利用客が増えると思う。多く用意して、半年もすると読まれなくなる懸念もあるが、新刊を見たい方が多いのであれば、そのニーズにこたえるすべをもう少し考えてはどうか。30冊と決めずに幅を持たせても良い。また、通常2週間の貸し出し期間を、新着図書については短くすると、回りが早くなるのではないか。

事務局

30冊以降であっても、予約が大変多い本に関しては寄贈も受け付けることとしており、実際には33冊くらいある本もある。

村上かずひこ委員

大手のレンタル店では、電算化が進んでおり、二千何店舗で、新しいDVDの調達や配置を数値化していると聞くが、図書館ではデータを利用しているのか。

事務局

図書館システムで全館の状況を把握しており、調整も行っている。

村上かずひこ委員

利用者の希望にこたえて、貸し出し冊数を7冊から10冊に増やすとのことだが、一般に2週間で10冊読むものか。何かを調べるため多く借りることは考えられるが、貸出数が停滞する心配はないのか。

議長

調べ物をするときには多く借りるが、一方、読む場合となると10冊は大変だ。いろいろな方がいろいろな目的で図書館に来られている。

事務局

政令市を見ると上限10冊のところは多い。上限を決め、あとはその人の利用にゆだねても良いと考えている。児童書などすぐに読めるものもある。

小林直之委員

図書の寄贈については、図書館から、人気のある本の寄贈を呼びかけているのか。

事務局

ホームページのFAQに、郷土資料や予約待ちの多い本について寄贈をお受けしているという趣旨の回答をしている。

小林直之委員

図書館で本を自由に借りることについては問題ないが、著作物は本来、書店でお金

を払って買うものだ。著作者の方は著作権使用料、印税で生活をしている。出版社としても、図書館は30冊買ってくれるお客様だが、一般のお客様と違うのはその先に何百人、何千人という読者がおり、遺失利益を考えたらきりが無い。

そうした点から考えると、図書館が寄贈を受けた場合、それを蔵書として使うことは問題ないかもしれないが、図書館のほうから積極的に、この本は人気があるから寄贈をいただきたいと呼びかけるのは避けるべきではないか。

事務局

確認のうえ、適切に対応したい。

小林直之委員

図書館書館の本が借りられないからといっても、書店に並んでいるし古本屋にあるかもしれない、その本が読めない状況に陥っているわけではない。一定期間、図書館の本が借りられなくても、その本を読む権利を奪っていることにはならないと思う。

事務局

図書館振興計画の中でも、市民の財産として資料の収集保存を行うことを定めている。人気本ばかりそろえれば偏った方々にしかサービスができないことにもなるが、お待ちの方々にも少しでも早く本を回すことも考慮して、現在は30冊という限度を設けている。1億5千万円の資料費を使ってどのくらいの本をどのように収集するか、専門職である司書が議論をしながら取り組んでいる。図書館の役割としては、貸し出し、保存収集のほか、レファレンス機能という観点もあり、幅広くこたえていかなければならない。現状では、巡回メール便を活用して、7つの図書館で資料を融通できる仕組みを作っており、効率的な購入に努めている。

議長

そのほかにも利用者から多くの意見が寄せられている。各館で優先順位をつけて、できるところから対応してほしい。

## 6 その他

- (1) 講座「只野真葛を読む」について若林図書館長より説明。
- (2) パンフレット「1ねんせいのみなさんへ としょかんへいこう！」及び中高生向け「図書館にいこうよ！」、仙台市図書館案春の子ども読書フェスティバル、仙台フィルハーモニー管弦楽団連携事業「日本のオーケストラ音楽」展トークイベント、広報紙「郷土のかぜ第14号」、レファレンス事例集「本の道案内 vol.1.5」について、市民図書館長より説明。
- (3) 「読み聞かせボランティアのはな」の平成30年度子供の読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰について、太白図書館長より報告。

〔委員からの主な質問・意見〕

渡辺祥子委員

仙台フィルハーモニー管弦楽団との連携事業について伺う。地域における身近な文化の拠点として、素晴らしい取組みと感じた。その場では関連書籍なども紹介されると思うが、図書館側でもこうした連携を今後も積極的に利用して、例えばコンサートマスターの好きな本の展示をすとか、演奏会の時に関連図書を紹介すとか、本に引き寄せるための工夫を続けてほしい。

事務局

今回は仙台フィルハーモニー管弦楽団からの呼びかけを受け、図書館としても全面的に協力している。図書館としての幅を広げる意味でも、様々に工夫をしまいたい。

議長

以上で議事を終了する。

## 7 閉会